

議会だより 18号

平成22年第1回定例議会 23議案を可決・同意

主な議決内容

○平成22年度予算は、一般会計予算162億1千万円、国民健康保険特別会計予算54億2284万円、介護保険特別会計予算30億9144万8千円、後期高齢者医療特別会計予算4億3790万4千円、水道事業会計支出総額22億5121万円にて可決されました。

平成22年第1回定例議会議決結果

議案番号	件 名	採決結果
1号	いすみ市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
2号	いすみ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
3号	いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可 決
4号	いすみ市運動場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
5号	いすみ市児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
6号	平成21年度いすみ市一般会計補正予算	可 決
7号	平成21年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算	可 決
8号	平成21年度いすみ市老人保健特別会計補正予算	可 決
9号	平成21年度いすみ市介護保険特別会計補正予算	可 決
10号	平成21年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算	可 決
11号	平成21年度いすみ市水道事業会計補正予算	可 決
12号	平成22年度いすみ市一般会計予算	可 決
13号	平成22年度いすみ市国民健康保険特別会計予算	可 決
14号	平成22年度いすみ市老人保健特別会計予算	可 決
15号	平成22年度いすみ市介護保険特別会計予算	可 決
16号	平成22年度いすみ市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
17号	平成22年度いすみ市水道事業会計予算	可 決
18号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可 決
19号	いすみ市水防協議会条例及びいすみ市消防委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
諮問1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
諮問2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
発議第1号	総務常任委員会の閉会中の継続審査について	可 決
発議第2号	専決処分事項の指定について	可 決

第1回定例議会が3月2日から3月19日までの18日間の会期で開催されました。
この定例議会では、市長から提出された平成22年度いすみ市一般会計予算ほか18議案及び人権擁護委員候補者の推薦2件が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決・同意されました。このほか、議員提出による議案2件の可決、議会に寄せられた陳情1件が継続審査となりました。

人事案件

諮問1号及び2号

◎人権擁護委員候補者の推薦

(2件)

(太田 防夫氏 再任)

(酒井 辰彌氏 再任)

陳情

◎陳情第1号 「核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書」採択に関する陳情書は、総務常任委員会において、閉会中の継続審査となりました。



▲市長による市政方針の様子

委員会

審査

報告

3月9日と10日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案等を審査しました。

平成22年度いすみ市一般会計予算の委員会審査において指摘・要望された内容について掲載いたします。

なお、文教常任委員会では今回指摘・要望はありませんでした。

総務常任委員会

1 市所有の普通財産について、遊休資産となっているものが見られるが、遊休資産を有効活用し活性化を図るとともに、未利用財産については処分を適切に行い、財産収入の確保に努められたい。

2 市民と協働によるまちづくりについて、NPO団体などが、公益性の高い事業等を積極的に展開されてきているが、当該団体が、国・県からの補助採択を受けた場合、事業運営をしていくに際して、補助金が交付されるまでの間は、資金不足から活動に支障をきたすという課題もある。市においては協働のまちづくりの観点から、この課題に対応する支援方策について検討されたい。

民生環境常任委員会

1 自殺予防対策事業は、講演会を行うだけではなく、自殺念慮を持つ対象者に対する対策を始め、多様な手段、媒体を通じた普及・啓発活動等の施策を検討されたい。

2 御宿町に委託しているごみ処理について、その一部をいすみクリーンセンターにおいて処理するよう早急に見直しの協議を進められたい。

産業建設常任委員会

1 旧3町の計画で運用していた農業振興地域整備

計画の見直しにあたっては、いすみ市全体の都市計画の見直しと合わせ、整合性をもって進められたい。

2 現在のいすみ市農業委員会委員の報酬について、適正な報酬額であるか、他の団体の事例等を調査・研究のうえ、検討されたい。

第1回臨時議会

第1回臨時議会が1月15日に招集され、いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてほか5議案及び人権擁護委員候補者の推薦1件が審議され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

このほか、夷隅環境衛生組合議会議員、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われました。

主な議決内容

◎市長、副市長及び教育長の給料月額を平成22年1月16日から平成24年1月15日までの間、15%減額。

人事案件

◎教育委員会委員

(鈴木 智氏 再任)

(池田 稔氏 再任)

◎監査委員

(元吉 善万氏 再任)

◎人権擁護委員候補者の推薦

(土橋ふみよ氏 新任)

選挙

◎選挙管理委員会委員

(渡邊 英夫氏 再選)

(太田 秀種氏 再選)

(中村 眞榮氏 再選)

(丸 忠司氏 再選)

◎選挙管理委員会委員補充員

(大曾根嘉信氏 再選)

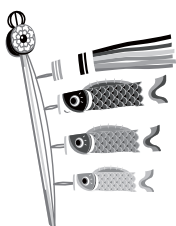
(安藤 紀夫氏 再選)

(渡邊 一司氏 再選)

(小林 晃氏 新)

◎夷隅環境衛生組合議会議員

(半場 新一氏 再選)



Q&A

一般質問

市政をきく

第1回定例議会の一般質問は、3月4日に9名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で要約した質問及び答弁の一部を掲載いたします。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(第1回定例議会の会議録は5月下旬に公開を予定しています。)

元吉議員 現在の児童数の

答
総合的な面から
検討し対応を図る

市内小学校の統廃合
元吉 基 議員

市長 地場産業の活性化、福祉のいすみ市、子育て支援千葉県一、地域交通の充実、医療の充実、移住・定住施策を総合的に、地域を活性化することで人口減に歯止めがかかるよう取り組みたい。

答
あらゆる施策を
総合的に、地
域を活性化する

市長の政治姿勢

高梨 庸市 議員

高梨議員 平成22年第1回

臨時会における市長の所信表明について具体的に伺いたい。

状況は。また、少子化が進むなか、小学校の統廃合の必要性が増すと思われるが伺いたい。

教育長 市内11小学校の児童数は平成元年に3099人でしたが、平成20年度は1894人に減少しています。

市では、児童の学習環境整備の現状、今後の児童数、学級数の推移を考慮し、地域や保護者の方々のご意見等を十分に伺いながら、教育行政を進めたいと考えています。



▲浪花小学校入学式

平成22年度予算

岩井 豊重 議員

答
地域経済対策等に
配慮し、予算編
成をした

岩井議員 新年度予算は、「市民の目線」という基本から組まれたと考えるが、全体の流れについて、特に留意された点、残された課題について伺いたい。

市長 全体の流れについては、平成22年度から、国・県からの合併補助金、経済対策による交付金等が見込めず、景気低迷による税収の落ち込み、政権政党が変わり先の見えない中での予算編成となりました。

特に留意した点は、地場産業の振興、福祉、医療、健康、子育て支援の充実、道路等生活基盤の整備、教育施設の充実、市民との協働のまちづくりの留意しました。

残された課題として、地方交付税は、6年後に合併算定がなくなり、約10億円

の交付税が減額される予定です。今の時点から6年後以降を見据えた財政運営が必要であると考えます。

農家の戸別所得補償

熱田 彰司 議員

答
多くの米生産者
が給付を受けられ
るよう周知する

熱田議員 戸別所得補償支給対象の実態について伺いたい。

市長 水田で麦・大豆・米粉用米・飼料用米などを生産する販売農家・集落営農を行う方に、主食用米と同等の所得を確保できる水田利活用自給力向上事業と米の生産調整目標に従って生産する販売農家・集落営農を行う方に、米所得補償モデル事業があります。
米戸別所得補償モデル事業対象者は581戸です。

子育て支援に

検討協議会の設置

鈴木 麗子 議員

答 必要であれば、

子育てを話し合う
場をつくりたい

鈴木議員 子育て世代の親の声を聞くことを重点に、専門家、学識経験者等による検討協議会を設置し、具体的な取り組みをしたかどうか伺いたい。

市長 子育て支援に関する各種事業の検討、取り組みなどについて、学識経験者等を委員とする次世代育成支援対策地域協議会において協議をしています。また、各保育所で実施する保護者会に出向き、保護者の生の声をお聞きし、子育て支援の一層の充実に努力したいと考えます。
なお、必要であれば子育ての話し合いをしていく場をつくりたいと思います。

災害時要支援

マニュアルの作成

荒井 正 議員

答 年度内に計画策

定を完了

荒井議員 要援護者の把握の遅れ、マニュアル作成の遅れの原因はなにか。

総務部長 災害時要援護者避難支援計画については、本年度計画策定委員会を設置し、検討を重ねてきました。特に個人情報取扱いについて、計画策定で苦慮し、また、どのように協力を得ていくかが一番議論されたところです。
計画素案がまとまり、年度内に計画策定を完了したいと考えています。
要援護者名簿の作成については、計画策定後直ちにとりかかり、早い時期に完了したいと思います。

家庭用小型

非常通報器具の普及

山口 稔 議員

答 研究したい

山口議員 緊急通報装置の貸与を実施しているが、設置対象外の人にも家庭用小型非常通報器具の普及を考えたらどうか伺いたい。

市長 核家族化や高齢化の進展に伴い、誰にも看取られないまま亡くなる高齢者や単身者の孤独死が大きな問題となっています。
市としては、見守りの方策を考えて行きます。
提案の件は、一つの方法として有効と思われるので、研究したいと思います。

事業仕分けについて
どのように考えるか

田井 秀明 議員

無駄のない効率
的な予算につながる

田井議員 事業仕分け実施について、市はどのように考えるか。

総務部長 本来事業仕分けは単に事業の予算を削るものではなく、その事業の背後にある組織や制度の問題点を洗い出し、行政、外部の有識者、市民が共に解決策を議論して、行政そのものを再構築していくことに真の意義があり、結果として無駄のない効率的な予算編成にもつながるものと考えています。
市においては、他の自治体の事例等を参考に、今後研究、検討したいと考えています。

い す み 市 観 光 協 会
として、統一した
観光事業

横山 正樹 議員

答 ニーズにあった諸
行事を企画したい

横山議員 市観光協会として、統一した観光事業はどのように行っていくのか。
産業建設部長 昨年の4月1日に観光協会が合併し、現

在は、支部制度にて、各地域の行事を実施しています。

今後は、観光協会理事役員と十分に話し合いを行い、ニーズにあった諸行事を企画し、観光協会の果たすべき役割を考えていきます。

また、観光協会としては、いすみ鉄道を活用した観光推進を図りたいと考えています。

市政を知るために
議会を傍聴しませんか。

第2回定例議会日程(予定)

6月8日(火)10時 開会

議案の上程

10日(木)10時 一般質問

15日(火)10時 議案質疑

16日(水)9時 委員会

17日(木)9時 委員会

25日(金)10時 委員長報告

議案審議
閉会

編集 議会だより編集委員会
TEL 0470-6211406
ホームページアドレス
<http://www.city.isunlie.jp/>
メールアドレス
gikai@city.isunlie.jp